

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

- (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
- (2) 人材需要の動向等社会の要請

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

秋田大学医学部医学科では、秋田県内の医師定着率向上を目的に、平成19年度入学者選抜から医学科入学定員の枠内で地域枠を設けて、地域に定着する医師の養成の更なる充実を図ってきた。令和2年度入学定員においても、平成31年度を期限とする臨時措置による入学定員の再度の定員増を計画しているが、当該増員29名分についても、秋田県が設定している修学資金制度の支援を得られることとなっている。

イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

秋田大学医学部医学科の過去5年の志願者及び入学者の状況は、資料1のとおりである。

以上のように、本学部医学科へ関心を持つ県内高校生的人数は一定の水準にあり、志願倍率も高倍率で推移している。また、入学定員充足率も安定していることから、本措置の実施によっても令和2年度以降において学生の確保は十分に見込まれ、定員増は妥当であると判断する。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

全学開催のオープンキャンパスのほか、本学部では秋田県との共催により、医学部に興味を持つ高校生向けにメディカルセミナー等の企画を実施しているが、医学部への進学意欲や関心の高い高校生が毎年度、一定の水準で参加している（資料2）。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

秋田大学医学部医学科では、豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感あふれる人材を養成することを教育研究上の目的としている。

② 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

資料3「秋田県の医師数の現状」に基づくと、秋田県の医療施設従事医師数（平成28年末現在）は、人口10万人対で見ると全国32位と下位にあり、全国平均の240.1人には約168人が不足している計算となり、医師不足の非常事態に直面している。また、平成28年の秋田周辺医療圏の人口10万人対医療施設従事医師数が311.2人となっているのに対して、北秋田医療圏や湯沢・雄勝医療圏ではその3割強から4割程度となっている一方で、秋田市では369.5人と全国平均を大きく上回る医師が集中しており、県内での地域偏在が課題となっている。

以上のとおり、地域を取り巻く医師不足や偏在の問題を解消するためには、地域に根ざした人材の養成が必要である。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料1 秋田大学医学部医学科入学試験状況

資料2 高校生向けの企画

資料3 秋田県の医師数の現状

資料 1:秋田大学医学部医学科入学試験状況

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
入学定員	124	124	124	124	124
志願者数 (志願倍率)	684 (5.52)	654 (5.27)	739 (5.96)	902 (7.27)	752 (6.06)
受験者数	386	416	466	406	378
合格者数	126	127	128	131	128
入学者数	124	124	124	124	124
入学定員超過率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

資料 2 : 高校生向けの企画

企画名	概要	平成 3 0 年度実績		
		開催日	回数	参加人数
オープンキャンパス (医学部医学科)	医学科の概要, 学生生活, 卒業後の進路及び入学選抜の概要説明の他, 模擬授業や施設見学を実施	7/28	1 回	208 名
高校生を対象とした医師育成教育事業 (秋田県健康福祉部との共催)	医学部進学を目指す県内高校生を対象に, 医学及び医師の魅力や本学部の教育展開等について講演 (2, 3 年生対象)	①6/11 秋田高校 ②6/14 横手高校 ③6/28 能代高校 ④7/5 湯沢高校 ⑤7/9 秋田南高校 ⑥9/25 大館鳳鳴高校	6 回 (6 校訪問)	①64 名 ②61 名 ③13 名 ④9 名 ⑤11 名 ⑥18 名
【地域医療を支える】ドクター育成事業: メディカルセミナー<2 年生向け> (秋田県高校教育課との共催)	医学部に興味を持つ県内の高校生を対象に, 医学部, 附属病院, シミュレーション教育センター, ドクターヘリポート等の施設見学や体験学習を実施	①10/17 ②10/31	2 回	①16 名 ②13 名
【地域医療を支える】ドクター育成事業: メディカルセミナー<1 年生向け> (秋田県高校教育課との共催)	医学部に興味を持つ県内の高校生を対象に, 医学生との交流や授業体験, シミュレーションセンターの見学を実施	12/19	1 回	66 名

資料3:秋田県の医師数の現状

1 医師数の現状

(1) 業務の種別毎の医師数

平成28年の調査では県内の医師の総数は2,384人と前回調査の2,355人から29人増加している。また、医療施設に従事する医師の割合は全国平均に近い94.7%であるが、本県の場合、診療所に勤務する医師の割合が低くなっている。

表1 施設・業務の種別毎の医師数

(単位:人、%)

	総数	医療施設従事者						その他(老健・行政・研究者等)	
		合計		病院		診療所		人数	割合
		人数	割合	人数	割合	人数	割合		
全国	319,480	304,759	95.4	202,302	63.3	102,457	32.1	14,721	4.6
秋田県	2,384	2,257	94.7	1,576	66.1	681	28.6	127	5.3

「医師・歯科医師・薬剤師調査(平成28年12月31日現在)」の結果による

(2) 医療施設従事医師数

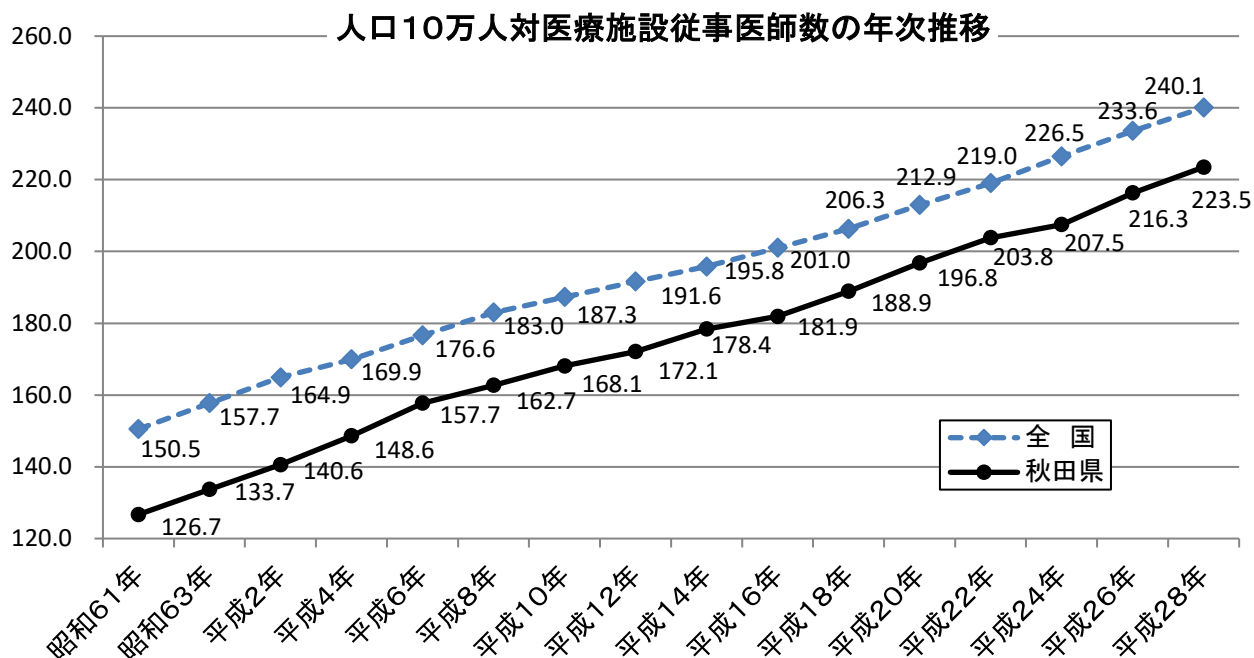
本県の医療施設従事医師数は、前回調査から14人増加(過去10年間では115人増加)し2,257人となっているが、人口10万人対で見ると全国32位(前回:32位)と下位にある。また、全国平均の240.1人には約168人が不足している計算になる。

表2 医療施設従事医師数及び人口10万人対医療施設従事医師数の推移

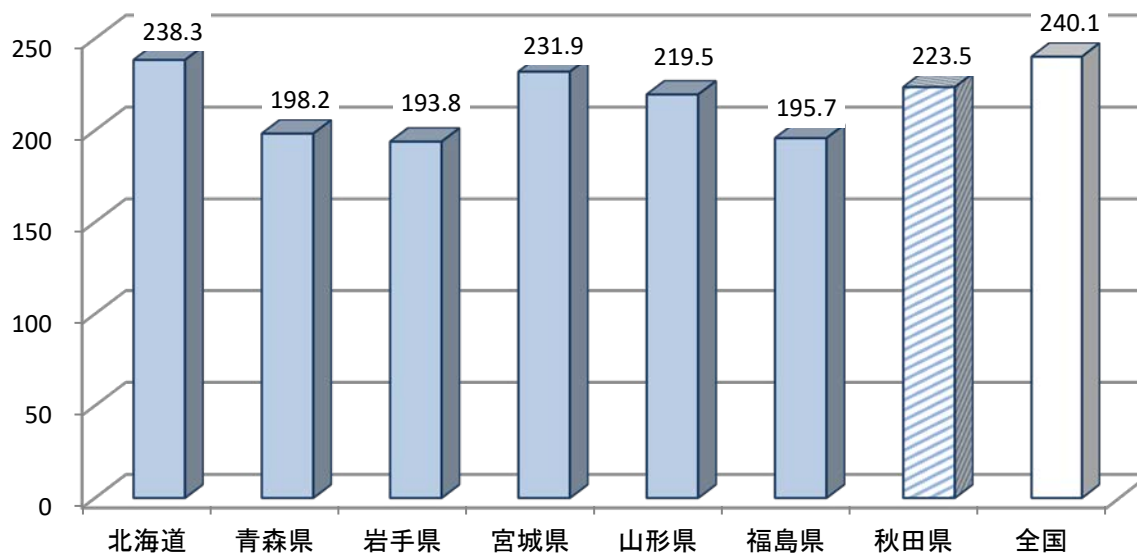
(単位:人)

区分	平成18年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
全国(A)	(263,540)	(280,431)	(288,850)	(296,845)	(304,759)
	206.3	219.0	226.5	233.6	240.1
秋田県(B)	(2,142)	(2,213)	(2,206)	(2,243)	(2,257)
	188.9	203.8	207.5	216.3	223.5
差(B-A)	△17.4	△15.2	△19.0	△17.3	△16.6

「医師・歯科医師・薬剤師調査(隔年調査12月31日現在)」の結果による



北海道・東北の人口10万人対医療施設従事医師数(平成28年末現在)



(3) 医師の地域偏在

平成28年の調査では、秋田周辺医療圏の人口10万人対医療施設従事医師数が311.2人となっているのに対して、北秋田医療圏や湯沢・雄勝医療圏ではその3割強から4割程度となっている。その一方で、秋田市では369.5人と全国平均を大きく上回る医師が集中しており、県内での地域偏在が課題となっている。

表3 医師の地域偏在の状況(医療施設従事医師数、人口10万人対医療施設従事医師数)

(単位:人)

区分	平成22年		平成24年		平成26年		平成28年		対秋田比(%)
	従事医師数	人口10万対	従事医師数	人口10万対	従事医師数	人口10万対	従事医師数	人口10万対	
大館・鹿角医療圏	178	149.0	173	147.9	158	139.7	172	156.5	50.3
北秋田医療圏	41	104.8	38	100.0	37	102.3	37	106.0	34.1
能代・山本医療圏	146	162.2	148	170.1	146	173.6	154	190.1	61.1
秋田周辺医療圏	1,179	283.3	1,198	290.8	1,242	306.0	1,237	311.2	100.0
うち秋田市	1,100	339.9	1,123	348.8	1,164	365.2	1,159	369.5	118.7
由利本荘・にかほ医療圏	192	170.3	197	179.1	195	182.7	190	183.1	58.8
大仙・仙北医療圏	198	141.9	187	137.5	196	148.4	202	157.2	50.5
横手医療圏	191	194.2	186	193.8	189	203.0	186	204.6	65.8
湯沢・雄勝医療圏	88	124.8	79	114.5	80	121.3	79	124.9	40.2

「医師・歯科医師・薬剤師調査(隔年調査12月31日現在)」の結果による

「対秋田比」は、平成28年末の秋田周辺医療圏を100とした場合の対比である